

平成30年度計画



SHIZUOKA CITY SHIZUOKA HOSPITAL

地方独立行政法人 静岡市立静岡病院

目次

	頁
第1 市民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する 目標を達成するためとるべき措置	
1 地域医療を支える要としての静岡病院	1
(1) 広大な市域を支える要としての活動	
(2) 救急医療	
(3) 高度医療	
(4) 政策医療	
(5) 災害時医療	
2 医療の質の向上と人材の確保	3
(1) 総合的な診療とチーム医療の実施	
(2) 先進医療機器や設備の整備	
(3) 医療職の確保、知識の取得、技術の向上	
(4) 臨床研修医の育成	
(5) 調査・研究、治験の実施	
3 医療の安全性と信頼性の向上	5
(1) 十分な情報提供と適切な取扱い	
(2) 医療安全管理等の徹底	
(3) 市民への積極的な広報	
4 利用しやすく快適な病院づくり	7
(1) 患者第一の病院づくり	
(2) 患者ニーズに応じた医療・病院環境の提供	
5 市及び医療関係機関との連携、国内外医療関係機関との交流	7
(1) 市立病院としての市との連携	
(2) 医療・保健・福祉・介護関係機関との連携	
(3) 国内外医療関係機関との交流	
第2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置	
1 働きやすい職場環境と職員のやりがいづくり	8
(1) 働きやすい職場環境の整備	
(2) 職員のやりがいと満足度の向上	
2 業務運営体制の構築	9
(1) 医療環境の変化に迅速・柔軟に対応できる体制の構築	
(2) 市民との連携・協働による病院運営の実施	
(3) 外部評価等の活用	
(4) 事務部門の強化	
(5) 法令の遵守等	
第3 財務内容の改善に関する目標を達成するためとるべき措置	
1 健全経営の維持	10
(1) 安定的な経営の維持	
(2) 収入の確保、費用の節減	
(3) 計画的な投資の実施	
第4 その他業務運営に関する重要事項に係る目標を達成するためとるべき措置	
1 地球環境に配慮した病院運営	11
第5 予算（人件費の見積りを含む）、収支計画及び資金計画	
1 予算	12
2 収支計画	13
3 資金計画	14
第6 その他市の規則で定める業務運営に関する事項	
1 施設及び設備に関する計画	14
用語解説	15

第1 市民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するため
とるべき措置

1 地域医療を支える要としての静岡病院

(1) 広大な市域を支える要としての活動

本市の都市部及び中山間地域において、「静岡市民『からだ』の学校」を開催し、市民へ医療情報を発信します。

また、教育関係機関と連携しながら生徒に対して医療及び医療職についての情報提供を行い、その理解を促進します。

関連指標

項目	平成28年度実績
静岡市民「からだ」の学校開催	都市部2回 山間部3回
中高校生を対象とした病院体験セミナー開催	高校生1回 中学生2回
中学生を対象とした職場体験学習	5名

(2) 救急医療

他の医療機関と連携しながら365日24時間の「ことわらない救急」を提供します。

成果指標

項目	平成28年度実績	平成30年度目標
救急搬送患者数の市内公的病院全体の中での当院が占める割合	21.3%	23.0%以上

関連指標

項目	平成28年度実績
救急患者数	13,523人
救急車搬送数	5,894人

(3) 高度医療

本市の基幹病院として、高度医療を提供する必要がありますが、特に次の点について重点的に取り組みます。

① 心疾患

「ハートセンター」において、循環器内科と心臓血管外科が連携して、従来から高い実績を持つ心臓血管手術やカテーテル治療などの幅広い専門的な治療を行うとともに、CTや血管造影を行いながら手術ができるハイブリッド手術室や経カテーテル大動脈弁置換術(TAVI)などによる先進的な医療を行います。

関連指標

項目	平成28年度実績
心臓血管外科	
手術総数	870件
開心術	375件

循環器内科	
心臓カテーテル検査	2,596 件
冠動脈インターベンション	477 件
TAVI	22 件

② がん

手術支援ロボット「ダヴィンチ」による前立腺がん等の手術や更新したリニアックによる質の高い放射線治療を継続して実施し、PET/CTによる画像診断の充実や病病連携の強化（周知等の活動）を図ります。

また、近隣の健診施設と連携し、がんの早期発見に有効なPET/CTによるがん検診の導入に向けた取り組みを実施します。

関連指標

項目	平成 28 年度実績
前立腺がん手術件数	52 件
がん手術件数	994 件
放射線治療件数	254 件
疾病分類別（新生物（悪性））入院患者数	2,444 人

(4) 政策医療

公的病院として、市民が日々安心して暮らすために必要な医療を提供していかねばなりません。特に次の点について重点的に取り組みます。

① 感染症及び精神疾患患者身体合併症

本県で唯一の第一種感染症指定医療機関であり、また、本市において重要な役割を担う第二種感染症指定医療機関であるため、その役割を果たせるようエボラ出血熱などの感染症患者にも対応できる医療体制を院内感染委員会等を通じて常に整え、保健所等関係機関との連携により迅速な患者の受け入れに備えるとともに、精神疾患患者の身体合併症治療を行います。

② 周産期及び小児

専門的な周産期医療や小児医療を安定的に提供します。

関連指標

項目	平成 28 年度実績
小児科患者数	
入院	2,374 人
外来	4,603 人
分娩件数	311 件

③ 生活習慣病

糖尿病治療、糖尿病性網膜症・腎症・動脈硬化症などの合併症や高血圧症への治療を、本院の総合病院機能の活用や、医師、看護師、薬剤師、管理栄養士等で構成されるチームにより専門的に行います。

また、講習会の開催などの予防に係る啓発活動を行います。

関連指標

項目	平成 28 年度実績
栄養指導件数	3,121 人

(5) 災害時医療

- a 地震防災対策マニュアル等について病院機能の損失度に応じた見直しを行うとともに、災害対応の訓練を行い、発生時において、関係機関と連携し、また自らの判断のもと、必要な医療救護活動を迅速に実施できるように備えます。

関連指標

項目	平成 28 年度実績
防災訓練	4 回
研修など	4 回

- b 非常電源や水源の確保など災害時に必要となる施設・機器の更新や維持管理を行うとともに、医薬品や医療資器材、食料の必要な備蓄等を行います。
- c 災害医療派遣チーム（DMAT）を編成して訓練を行い、市外における大規模災害発生時の援助要請に備えます。

関連指標

項目	平成 28 年度実績
DMAT 訓練回数	3 回

- d ヘリポート施設設置の可能性について、工法、運用面及び財政面等を総合的に勘案して検討します。

2 医療の質の向上と人材の確保

(1) 総合的な診療とチーム医療の実施

当院のチーム医療（ハートセンター、消化器総合センター、呼吸器センター、緩和ケアチーム、栄養サポートチーム、がんリハビリテーション、褥瘡対策チーム、呼吸サポートチーム）を推進し、診療科や職種を超えた連携により、それぞれの専門性を生かした質の高い医療を一体的に提供します。

関連指標

項目	平成 28 年度実績
心臓リハビリ件数	731 件
栄養サポートチーム回診件数	89 件
緩和ケアチーム対応患者数	59 人

(2) 先進医療機器や設備の整備

- a 新たな医療機器の開発状況、他の医療機関における導入状況などを踏まえて先進医療機器を整備します。
- b 医療機器・施設の稼働状況や耐用年数、他の医療機関における状況などを踏まえて、医療機器（アンギオグラフィなど）や施設を整備・更新します。

(3) 医療職の確保、知識の取得、技術の向上

- a 医療職について必要な時に必要な人数を随時採用するとともに、女性医師等のワ

ーク・ライフ・バランスの実現に向けた柔軟な勤務体制を整備し、制度の利用促進に努めます。

成果指標

項目	平成 28 年度実績	平成 30 年度目標
7 対 1 看護配置に向けた看護師の増員数 (H25 年度比)	65 人	90 人

関連指標

項目	平成 29 年 4 月 1 日
医師数	149 人
看護師数	496 人

- b 院内研修の充実や研究・研修会への参加を促進します。

また、資格取得を支援するため予算処置を講じ、診療報酬上必要な資格の取得については、専門医等資格取得支援委員会に諮り、資格保持者の欠員がでないように措置していきます。

関連指標

項目	平成 28 年度実績
専門医資格取得数	151 件
指導医資格取得数	65 件
認定看護師数 (人)	9 人

- c 看護実習の場の提供等により、静岡市立看護専門学校等との連携を図り、優れた看護師の養成を支援します。

関連指標

項目	平成 28 年度実績
看護実習受入人数	213 人

(4) 臨床研修医の育成

臨床研修運営委員会、臨床研修管理委員会を開催し、研修プログラムの充実を図り、特に研修医からの要望が強い模擬実習について、高度な技術を効率よく習得できる実習施設（シミュレーションラボ）の活用など、当院の特長を活かした研修や実習を充実させることで、臨床研修医にとって魅力ある職場環境を示し、人材の確保と定着を図ります。

成果指標

項目	平成 28 年度実績	平成 30 年度目標
臨床研修医募集定員充足率	100%	100%

関連指標

項目	平成 28 年度実績
臨床研修医マッチング数	13 人

(5) 調査・研究、治験の実施

新しい治療法の開発等に貢献する臨床研究や治験に、参加者の意思を尊重しながら積極的に取り組みます。

関連指標

項目	平成 28 年度実績
治験実施件数	6 件
治験実施率	79%

3 医療の安全性と信頼性の向上

(1) 十分な情報提供と適切な取扱い

- a 常に患者やその家族の立場に立ち、誠意を持った対応を心がけるとともに、医療の提供に当たっては、インフォームドコンセントを徹底します。また、治療計画書を活用し、入院中の診療スケジュールについてわかりやすく説明します。

そして、患者やその家族が、治療法等の判断に当たり主治医とは別の医師の意見を求めたとき、適切にセカンドオピニオン（患者及びその家族が、病状や治療法等について、主治医とは別の専門医に意見を聴くこと）を受けられる体制の整備を行います。

関連指標

項目	平成 28 年度実績
セカンドオピニオン件数	
受入	29 件
紹介	42 件

- b 定期的に市民公開講座を実施します。

また、病院施設内に、心臓病、消化器病、糖尿病などの「患者の会」が活動しやすい場所を提供するとともに、医師等による講演や医療相談等を実施し、疾病に係る患者理解の促進を図り、病院と患者との信頼関係の醸成を図ります。

- c 患者情報に係る保護及び病院に係る情報の公開について、市の関連条例の実施機関として、適切に取り扱います。

関連指標

項目	平成 28 年度実績
診療録開示件数	58 件

(2) 医療安全管理等の徹底

医療安全管理について、医療安全管理委員会を毎月開催し、各部署の問題点等の検

討や各種マニュアルの見直し等を行うとともに、医療安全研修会を定期的に開催します。

また、院内感染防止について、院内感染対策委員会を毎月開催し、感染対策マニュアルの周知徹底・啓発及び感染者情報等の共有を行うとともに、感染管理認定看護師を中心とした研修会等を実施します。

関連指標

項目	平成 28 年度実績
医療安全管理委員会開催回数	12 回
医療安全研修会等実施数	15 回
院内感染対策委員会開催回数	17 回
院内感染対策研修会等実施回数	8 回
院内ラウンド件数	週 1 回

(3) 市民への積極的な広報

病院の理念・基本方針、各診療科の特色や治療実績、クリニカルインディケーター、財務諸表等の経営状況などについて、病院ウェブサイトへ掲載し、随時更新を行うとともに、病院広報紙を院内各所へ設置するなど、市民にわかりやすく広報します。また、より情報発信力の高いウェブサイトへと全面リニューアルを実施し、利用者にとって使いやすく、かつ易しいウェブサイトの運用に努めます。

関連指標

項目	平成 28 年度実績
静岡病院広報紙	6 回
年報	1 回

4 利用しやすく快適な病院づくり

(1) 患者第一の病院づくり

病院の基本方針として、患者にとって最善の全人的医療を実践する旨を掲げるとともに患者の権利を明示し、これらに基づいて患者の立場を常に意識しながら医療サービスの提供や病院施設等の整備を行います。

(2) 患者ニーズに応じた医療・病院環境の提供

- a アンケート等により患者ニーズを把握し、院内施設等の改修や診療体制等の運用面の改善に努め、ハードとソフト両面から快適な環境を提供します。

成果指標

項目	平成 28 年度実績	平成 30 年度目標
患者満足度調査結果(概ね満足と回答した割合)	90.6%	90.0%以上

関連指標

項目	平成 28 年度実績
医療相談件数	6,740 件
患者意見件数	179 件

- b 患者にとって利用しやすい病院環境を確保するため、待ち時間調査の実施及び対応策の検討等を行い、会計等の待ち時間の短縮につながる具体的な取組みを実施します。さらに、待ち時間をなるべく有意義に過ごしてもらえよう、診察待ちの患者さんに対し体操指導を行うなど、患者の利便性等の向上に努めます。
- c 短期間の入院治療について、収益性、患者の利便性、ケアの必要性などを考慮し、外来診療からの切り替え等を含めて検討します。
- d 花や緑のある安らぎの空間について、他の医療機関の状況や感染管理を考慮し、院内へ配置します。
- e 市民から信頼される病院であり続けるため、職員一人ひとりが患者の立場に立った接遇の実践ができるよう病院の全職員を対象とした接遇研修を実施します。

5 市及び医療関係機関との連携、国内外医療関係機関との交流

(1) 市立病院としての市との連携

市と連携しながら、市目標に基づく計画の策定、計画の実行、市評価委員会による評価、評価に基づく改善などのPDCAサイクルによる経営管理を実践してまいります。

(2) 医療・保健・福祉・介護関係機関との連携

- a 「イーツーネット」により疾患別に患者を登録し、きめ細やかな管理を行います。また、CT、MR等の画像情報を交換できる「イージーイーツーネット」の活用により、更なる病診連携の推進を図ります。そして、各診療科において医師会の先生との病診連携勉強会を開催するなど、信頼関係の醸成に努めます。

成果指標

項目	平成 28 年度実績	平成 30 年度目標
紹介率	74.4%	60.0%以上の維持
逆紹介率	107.1%	80.0%以上の維持

- b 他病院と互いに協力・補完しあい、疾患ごとの連携の強化や、患者のその時々の病態にあった入院治療の効率的な提供など、病病連携の推進に努めるとともに、静岡市公的病院協議会における情報交換等により、他の市内公的病院との連携に取り組んでまいります。
- c 患者の在宅復帰等退院調整を強化し、在宅医療を受け持つ診療所、介護保険施設や療養型病院と情報を共有し連携を図るとともに市の保健・福祉・介護関係機関とも情報共有、連携を図ります。

(3) 国内外医療関係機関との交流

自治体病院学会等に参加し、他の医療機関との連携を推進するなど、国内外医療機関と交流します。

第2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置

1 働きやすい職場環境と職員のやりがいづくり

(1) 働きやすい職場環境の整備

働きやすく休みやすいワーク・ライフ・バランスの充実の実現に向け、多様な価値観や家庭環境に柔軟に対応できる雇用形態・勤務形態を整備し、利用促進に努めるとともに、長時間労働の改善に向けた変形労働時間制の導入や、勤務環境改善を推進する各行政機関との連携など、「働き方改革」の推進に向けた取り組みを継続します。

また、職員の意見、要望をよりの確に把握するための職員意識調査、ストレスチェックを実施し、それに基づいた就労環境の向上策を検討・実施します。

関連指標

項目	平成 28 年度実績
院内保育所の受入人数	25 人

(2) 職員のやりがいと満足度の向上

a 職員自身の能力開発や技術向上の取組を促進させるため、院内研修の充実や、職員の研修会等への参加支援を行います。

また、職員の職責、勤務成績等を適正に評価する人事給与制度や表彰制度を構築するとともに、「医療学術集談会」や「看護研究発表」、「全国自治体病院協議会」での事例発表等による職員の意欲の向上や職員相互のコミュニケーションの活性化等を図ります。

そして、職員意識調査を行い、その結果を踏まえた対策を検討します。

関連指標

項目	平成 28 年度実績
看護研究発表事例件数	15 件
全国自治体病院協議会事例発表件数	5 件

b 職員の経営参画意識を高め、よりよい病院づくりに向けた取組を推進するため、病院の運営方針や課題についての職員間での情報共有や課題改善を検討するための会議を開催するとともに、課題改善の奨励に取り組みます。

2 業務運営体制の構築

(1) 医療環境の変化に迅速・柔軟に対応できる体制の構築

医療環境の変化や患者の動向を迅速かつ的確に把握・分析し、効果的な対応がいつでもとれるよう組織体制を弾力的に改組します。

超高齢化社会に備えるための地域医療構想や、医療制度改革への対応方針及び方向性の検討、さらに、静岡市や他の行政機関との連携推進など、中長期的な視点による病院経営戦略の一翼を担う部署として、新たに経営戦略本部「経営戦略室」を設置します。

また、従来の「教育研修管理室」から「教育研修管理センター」へとセンター化を図り、平成 30 年 4 月から始まる新専門医制度への対応や、研修指導体制の更なる強化などに取り組みます。

(2) 市民との連携・協働による病院運営の実施

地元自治会等と共同して市民公開講座等を開催します。

また、静岡病院での患者誘導、移送等に係る市民ボランティアを支援するため、ボランティア支援委員会を開催し、市民ボランティアとの協働を進めます。

そして、院内において市内の学生によるミニコンサート・フラワーアレンジメントなどを実施し、患者さんに心地よい環境を提供します。

関連指標

項目	平成 28 年度実績
地元自治会等との共催事業	3 回
ボランティア活動延べ人数	517 人
院内コンサート	1 回

(3) 外部評価等の活用

「病院機能評価」を受審し、継続して認定病院となり、地域に根ざし、信頼と納得の得られる医療サービスを提供します。さらに、「臨床研修評価」を受審し、継続して認定病院となり、第三者評価による研修プログラムの保証、臨床研修病院の質の改善・向上を促進し、よりよい医療を提供します。

また、業務の実施状況、資産の取得管理、財務諸表等について「監事監査」を実施し、適正な病院経営、会計経理の執行に努めます。

そして、医療の質の向上に係る院外での研修受講の推進や品質管理等の民間のスキルやノウハウを活かす方策の検討などにより、病院体制の充実等に努めます。

(4) 事務部門の強化

事務職員のプロパー化を推し進め、能率的な医療経営の推進を図ります。

成果指標

項目	平成 28 年度実績	平成 30 年度目標
派遣職員から法人職員への切り替え率（事務職）	22.5%	75.0%

(5) 法令の遵守等

医療法をはじめとする国の法令や関係規程、法人が定める倫理方針や各種規程等を遵守し、職員に対し定期的な意識啓発を実施します。

第3 財務内容の改善に関する目標を達成するためとるべき措置

1 健全経営の維持

(1) 安定的な経営の維持

医療環境の変化に的確に対応しながら、収入の確保及び支出の無駄を省き、市からの運営費負担金等の繰入後の経常収支を均衡させ、安定的な経営を維持します。

成果指標

項目	平成 28 年度実績	平成 30 年度目標
総収支比率	102.2%	100.0%
経常収支比率	101.4%	100.0%
医業収支比率	97.4%	96.0%以上

※ 地方独立行政法人の会計基準にあわせ、医業収支比率の算定に用いた医業収益には、市からの負担金を含めていない。

(2) 収入の確保、費用の節減

a 収入の安定的確保のため、以下の項目を実施します。

- ア 収入の確保に向けた全職員対象の研修会等を実施
- イ 診療報酬改定への的確な対応
- ウ 人口減少社会における患者の安定的な確保
- エ 査定状況等の傾向分析に基づく診療報酬の請求漏れや査定減防止策の関係者への周知
- オ 未収金の圧縮（電話催告、「医療相談窓口」等相談窓口の周知や職員による支払相談の充実強化）

成果指標

項目	平成 28 年度実績	平成 30 年度目標
病床利用率	90.9%	95.0%以上
収納率（現年度分）	98.1%	98.0%以上

関連指標

項目	平成 28 年度実績
入院患者数	165,836 人
外来患者数	282,213 人
手術件数	5,422 件
平均在院日数	12.1 日

b 費用の節減のため、以下の項目を実施します。

- ア 後発医薬品の積極的な採用
- イ 診療材料や医薬品について、市場調査に基づく価格交渉の実施や在庫管理の徹底
- ウ 多様化する契約手法を最大限活用
- エ 費用節減について、会議等による職員への周知・浸透

成果指標

項目	平成 28 年度実績	平成 30 年度目標
後発医薬品指数	83.9%	70.0%

関連指標

項目	平成 28 年度実績
給与費比率	47.5%
材料費比率	31.0%
経費比率	16.7%

(3) 計画的な投資の実施

主要医療機器の整備計画や施設の整備・修繕計画を踏まえて投資します。

関連指標

項目	平成 28 年度実績
減価償却費比率	7.2%

第 4 その他業務運営に関する重要事項に係る目標を達成するためとるべき措置

1 地球環境に配慮した病院運営

環境負荷の少ない機器の購入、廃棄物の分別徹底、リサイクル推進による廃棄物の減量、ディスプレイ材料の見直し、地下水利用による水道使用量の削減、高効率機器の導入、機器の効率的な運転管理の実施等により、地球環境に配慮した病院運営を行います。

関連指標

項目	平成 28 年度実績
電気使用量	10,701,456KWH
ガス使用量	1,315,030 m ³
水道使用量	97,333 m ³

第 5 予算（人件費の見積りを含む）、収支計画及び資金計画

1 予算（平成 30 年度）

（単位：百万円）

区分	金額
収入	20,213
営業収益	19,680
医業収益	18,163
運営費負担金	1,479
補助金等収益	38
その他営業収益	0
営業外収益	219
運営費負担金	69
その他営業外収益	150
臨時利益	0
資本収入	314
運営費負担金	0
長期借入金	300
その他資本収入	14
その他収入	0
支出	19,894
営業費用	18,166

医業費用	17,785
給与費	8,798
材料費	5,549
経費	3,340
研究研修費	98
一般管理費	381
営業外費用	161
臨時損失	0
資本支出	1,567
建設改良費	872
償還金	552
その他資本支出	143
その他支出	0

※1 計数は項目ごとに端数を四捨五入しているため、合計が一致しない場合がある。

※2 期間中の診療報酬の改定、給与改定、物価の変動等は考慮していない。

[人件費の見積り]

期間中総額9,172百万円を支出する。

なお、当該金額は、役員報酬、職員基本給、職員手当、法定福利費及び退職手当の額に相当する。

2 収支計画（平成30年度）

（単位：百万円）

区分	金額
収入の部	19,864
営業収益	19,655
医業収益	18,125
運営費負担金収益	1,479
補助金等収益	38
資産見返負債戻入	13
営業外収益	210
運営費負担金収益	69
その他営業外収益	141
臨時利益	0
支出の部	19,941
営業費用	19,105
医業費用	18,724
給与費	8,686
材料費	5,541

	経費	3,110
	減価償却費	1,295
	研究研修費	92
	一般管理費	381
	営業外費用	836
	臨時損失	0
	純利益	△77
	目的積立金取崩額	77
	総利益	0

※1 計数は項目ごとに端数を四捨五入しているため、合計が一致しない場合がある。

※2 期間中の診療報酬の改定、給与改定、物価の変動等は考慮していない。

3 資金計画（平成30年度）

（単位：百万円）

区分		金額
資金収入		23,632
業務活動による収入		19,565
	診療業務による収入	18,117
	運営費負担金による収入	1,259
	その他の業務活動による収入	188
投資活動による収入		303
	運営費負担金による収入	289
	その他の投資活動による収入	14
財務活動による収入		300
	長期借入れによる収入	300
	その他の財務活動による収入	0
前年度繰越金		3,464
資金支出		23,632
業務活動による支出		18,730
	給与費支出	9,164
	材料費支出	5,995
	その他の業務活動による支出	3,571
投資活動による支出		787
	有形固定資産の取得による支出	645
	その他の投資活動による支出	143
財務活動による支出		779
	長期借入金の返済による支出	120
	移行前地方債償還債務の償還による支出	432
	その他の財務活動による支出	227
翌事業年度への繰越金		3,334

※1 計数は項目ごとに端数を四捨五入しているため、合計が一致しない場合がある。

※2 期間中の診療報酬の改定、給与改定、物価の変動等は考慮していない。

第6 その他市の規則で定める業務運営に関する事項

1 施設及び設備に関する計画（平成30年度）

（単位：百万円）

内容	予定額	財源
施設、医療機器等整備	872	静岡市長期借入金等

《 用語解説 》 (五十音順)

医業収支比率

医業収益×100／医業費用

※ 医業費用は地方独立行政法人会計では営業費用に相当する。

開心術

心臓外科手術において患者の心臓を切開し手術操作を行う方法

カテーテル治療

手首や足の付け根からカテーテルと呼ばれる細い管を血管内に挿入し、狭くなった血管を広げる治療法

冠動脈インターベンション

カテーテルを使用して、血管内から冠動脈を治療する方法

緩和ケア

重い病を抱える患者やその家族一人ひとりの身体や心などの様々なつらさをやわらげ、より豊かな人生を送ることができるように支えていく行動

逆紹介率

他の医療機関への紹介患者数×100／初診患者数

給与費比率

病院職員の給与費×100／医業収益

クリニカルインディケータ

病院の機能や診療の状況を、指標を用いて表したもの

経カテーテル大動脈弁置換術（TAVI）

カテーテルを使用して、心臓に人工弁を装着する治療法

経常収支比率

経常収益×100／経常費用

経費比率

経費×100／医業収益

血管造影

血管内に造影剤を注入し、その流れをX線で撮影して血管の状態や血液の流れを把握すること

減価償却費比率

減価償却費×100／医業収益

後発医薬品指数

後発医薬品の数量／（後発医薬品のある先発医薬品の数量＋後発医薬品の数量）

材料費比率

材料費×100／医業収益

CT

コンピュータ断層撮影装置。人体にX線を照射して、そのデータをコンピュータで処理して人体の断層像を得る。

紹介率

（紹介患者数＋救急患者数）×100／初診患者数

専門医

高度な知識や技量、経験を持つ医師として、医療における各領域の学会が認定した医師

総収支比率

総収益×100／総費用

治験

国から薬としての承認を受けるために、「薬候補」の人での効果や安全性について調べる試験

治験実施率

実施済症例数×100／契約症例数

7 対 1 看護配置

入院患者 7 人に対して看護職員 1 人を配置すること。

認定看護師

公益社団法人日本看護協会の認定看護師認定審査に合格し、特定の看護分野において、熟練した看護技術と知識を有することが認められた看護師

ハイブリッド手術室

手術台と X 線撮影装置を組み合わせた手術室

病院機能評価

公益財団法人日本医療機能評価機構が、病院が組織的に医療を提供するための基本的な活動（機能）が、適切に実施されているかを評価するもの

病床利用率

$1 \text{ 日あたり入院患者数} \times 100 / \text{病床数}$

平均在院日数

$\text{在院患者延数} / ((\text{新入院患者数} + \text{退院患者数}) \times 1 / 2)$

P E T - C T

P E T（陽電子放射断層撮影装置）と C T（コンピュータ断層撮影装置）の画像を同時に撮影できる装置

臨床研修医

医師国家試験合格後、厚生労働大臣の指定を受けた臨床研修病院や大学病院で、臨床研修を受ける医師。診療に従事しようとする医師は、2 年以上の臨床研修を受けることとされている。

臨床研修評価

N P O 法人卒後臨床研修評価機構が、国民が安心して受診できる病院、国民が求める良い医師を育てる研修プログラムを標準化させることを目的に、研修プログラム等を評価するもの